

道標ない旅

自分も人も大切に
～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～



◆◆ 6月の行事予定をお伝えします。 ◆◆

令和4年		6月行事予定		授業時数							
日	曜日	週		1	2	3	4	5	6	60	モ
1	水	A	歯科検診(3の1、3の2、5年) 授業参観(4年)	5	5	5	5	5	5	●	○
2	木		朝の集い(月目標) 尿検査二次②提出日 授業参観(3年)	5	5	5	6	6	6		
3	金	週	授業参観(5年) 歯みがき指導(4年)	4	5	5	5	5	5	●	○
4	土										
5	日										
6	月		授業参観(2年)	5	5	5	5	5	5	●	
7	火	B	授業参観(1年)	5	5	6	6	6	6		○
8	水		プール(5年③) 歯科検診(3の3、6年) SC来校日	5	5	5	5	5	5	●	○
9	木	週	朝の集い(校長) 尿検査二次センター受付 SC来校日	5	5	5	6	6	6		
10	金			4	5	5	5	5	5	●	○
11	土										
12	日										
13	月		クラブ活動②	5	5	5	6	6	6	●	
14	火	A	心電図二次・判定会	5	5	6	6	6	6		○
15	水		一斉下校訓練 職員会議	5	5	5	5	5	5	●	○
16	木	週	朝の集い(児童) SSW来校日 文化芸術 いじめ防止授業①(5の1、5の2)	5	5	5	6	6	6		
17	金		文化芸術 いじめ防止授業②(5の3)	4	5	5	5	5	5	●	○
18	土										
19	日										
20	月		個人面談① 掃除なし	5	5	5	5	5	5		
21	火	B	個人面談② 掃除あり	5	5	5	5	5	5		○
22	水		個人面談③ 掃除なし	5	5	5	5	5	5		○
23	木	週	たてわり遊びの会打ち合わせ(15分休み) 個人面談④ 掃除あり	5	5	5	5	5	5		
24	金		個人面談⑤ 掃除なし	4	5	5	5	5	5		○
25	土										
26	日										
27	月		たてわり遊びの会	5	5	5	5	5	5	●	
28	火	A		5	5	6	6	6	6		○
29	水	週	プール(3年②・1年②) 小中合同研修会(南郷中)	5	5	5	5	5	5	●	○
30	木			5	5	5	5	5	5	●	

(1) SC来校日は以下の通りです。

6月 8日(水) SC

6月 9日(木) SC

ご予約の方は

教頭まで 875-6860

(2) 朝の集い

6月 2日(木) 月目標

6月 9日(木) 校長集会

6月16日(木) 児童(給食委員会)

(3) クラブ・委員会関係

6月13日(月) クラブ活動②

(4) 身体計測関係は

左のカレンダーや 4/7 発行「保健だより」にてご確認ください。

(5) 個人面談

6月20日(月)～24日(金)

(6) 防災・防犯訓練関係

6月15日(水) 一斉下校訓練

(7) 授業参観

6月1日(水) 4年生保護者

2日(木) 3年生保護者(2組を除く)

3日(金) 5年生保護者

6日(月) 2年生保護者

7日(火) 1年生保護者

(8) プール授業

6月 8日(水) 5年生③

6月29日(水) 3年生②・1年生②

(9) 特別な活動

6月 3日 歯みがき指導(4年)

6月16日・17日 文化庁文化芸術派遣事業 いじめ防止教室(5年)

6月27日 たてわり遊びの会

◆◆ 久々にサイエンスショーを実施しました。 ◆◆

1年生にとっては初めての経験となる「朝の集い 校長集会サイエンスショー」なので、新入生を歓迎するという意味も込めて、「感激!缶劇!?!」というタイトルの「缶の芸」を披露しました。

空き缶の場合その中身?は、空気ですね。空き缶に空気が入っている場合と、空気が入っていない場合、実はその様子(結果)が大きく変わります。実を言うと、次回予定のサイエンスショーにも内容が重なるので、ここで解説が出来ないのですが、今日の実験何が起こったかの現象だけはお伝えします。

空き缶に、少量の水を加え、ガスバーナーで底を炙(あぶ)ると、やがて湯気が沢山出てきます。湯気は缶の中の空気を追い出しながら外に出てくるので、缶の中の空気がどんどん無くなっていきます。その状態で、缶を逆さまに水の入った容器(丸水槽)に突っ込むと、写真のように缶が張り付いてしまうのです。缶をゆっくり外すと、剥(は)がれるときに大量の水が缶の中に吸い込まれます。缶の中にほとんど空気がない真空に近い状態ではそういう事が起こります。スチール缶(鉄製の缶)で実験すると、そんな実験結果が得られます。

長柄小学校学校だより

ところが、スチール缶の代わりに、アルミ缶を用いると、金属の強度がさらに弱い(柔らかい)ので、あっという間に缶の周りの空気が、缶を潰(つぶ)してしまうのです。大気圧という空気の押す力は、実はものすごい力があるのです。缶の内側にも空気があれば、中から押す力と外から押す力が同じなので、缶はつぶれたりしません。湯気が空気を追い出すとこんなことが起こるのです。えっ、「加熱しているとき、何故つぶれないのか?」ですか? いい質問ですね。加熱して(あぶっている)いる時、缶の中には、水の気体の状態である、水蒸気が大



暴れしていて、外の空気(大気圧)に負けることはありません。でも、逆さまに水槽に入れると、水蒸気は冷えて水に戻ってしまいます。水は水蒸気に代わると体積が 1300 倍以上に膨らみます。逆に言うと、冷えた瞬間、中の水蒸気はわずかな水になり、真空に近い空間に缶内になってしまうのです。

「さいごのあっというまになんでなるのか(つぶれたのか)きになります。」(3年)

「なんでへこむんですか?なんで水をすいこむのですか?なんで水そうにくつつくんですか?」(3年)

「ぼくは実けんや科学や化学が好きです。こんどいっしょに実けんをしたいです。」(3年)

といった感想を寄せてくれた児童には、「そこが気になるのが、一番力がつく(理科が得意になる)よ。」これから深めていきましょうと伝えました。次回も関連した実験を行う理由はそこにあります。

「3問目の問題で、缶がすぐにつぶれたのは、とてもおどろきました。次回も楽しみです。」(6年)

といった高学年の感想も多かったです。もしかしたら中学校に行ったら探究的に、各自同様の実験をして大気圧の強さを実感できる実験が待っているのではと思います。自分自身でもっともっと深く学んでいって欲しいと願います。

◆◆ 熱中症対策で、体育の授業でマスクはしなくて良いことを伝えています。 ◆◆



左の写真は、5月26日(木)の体育授業の様子。初めて全員がマスクをしないで体育に参加している様子を確認することが出来ました。実は、体育では積極的にマスクを外すよう指導し、担任自ら外しているものも多いのですが、染みついた習慣の壁は厚く、外すことをためらう、或いは嫌がる児童が多いのが現状でした。そんな状況の中、この授業については全員が外していても、一人ひとり明るく楽しそうに授業をやっていました。やがて「教室での授業等でもマスクを外していいよ」と伝える時期がやってくるのが予想されます。その時には子ども達を応援する意味で、学校からの積極的メッセージを発信しなければならないだろうと感じています。その時が来るまでは、以下の対応となりますのでご理解ください。

5/27付で町教委から配信されたあんしんメールをご確認ください。本校も同じ感染対応をしていきます。

『引き続き、基本的な感染対策(「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等)を実施して参ります。各ご家庭におかれましても、引き続き、感染対策にご留意くださるようお願いいたします。なお、各学校においては、体調上の不安等からマスクの着用が難しい児童生徒、マスクを外したくない児童生徒もおりますので、マスクの有無による誤解や偏見、差別が生じないように引き続き指導して参ります。』となります。

とはいえ、校医さんのご助言によれば、今、長柄地区では児童の感染に広がりが見られるのも事実です。メールでお伝えしましたとおり、3年2組は、月曜日・火曜日と学級閉鎖することになりました。その結果、今週計画されていた3年生のプール中止や、社会科授業の町探検の延期、そして3年2組の授業参観を当面延期していく措置をとります(1組・3組は授業参観を実施します)。兄弟姉妹が感染すると、ご家族全員に広がる傾向があり、3学年で収まられるかが、ここしばらく学校全体のキーポイントとなりそうです。